

トランスファー体験記（ひゅう）

京都の大学に1年間通い、ICU にトランスファー（転入本科生）として入学したひゅうと申します。今回は私の受験を決めるまでから現在のICU 生活を書かせて頂きたいと思います。少しでもICU に編入を考えている方の参考になれば幸いです。

ICU 編入を決めるまで

前の大学に入学した当初は、せっかく入学したのだから、この大学でしっかり勉強しよう!! と編入するつもりなど全くありませんでした。それにも関わらず受験を決意したのは、大学生活に慣れ、自分が今後何をやっていきたいか考えたときに、留学や自分の興味のある分野の勉強をするにはやはりICU がいちばんふさわしいのではないかと思ったからです。何度かこのままでいいのではないかと思ったこともありましたが、そんなときは本当にICU に行くかどうかは合格してから決めれば良いと考えるようにしていました。

ICU 対策

私がICU 対策を本格的に始めたのは、苦手だった一般能力考査が入試の1ヶ月前、その他は2~3週間前からでした。トランスファーとして入学するつもりなら、後期のテストが終わるまでは現在通っている大学の授業に集中することを強くお勧めします。なぜなら、単位がとれていたとしてもB以上の成績でないと単位変換出来ないし、万が一編入に失敗してしまったとき、後々大変だからです。残念ながら、英語だけはいくら成績がよくても変換してもらえないのですが、一般教養科目などは自分の知識を増やすのに有効です。かくゆう私も後期のテストが終わるまでは、ICU 対策らしい勉強を挙げるならTOEFLの勉強くらいで、それ以外は周りに本当に編入試験を受けるのかと疑われるくらい、大学の授業に集中していました。TOEFLは交換留学などをしていたいと考えている方なら、スコアを上げておいて損はないしICU の入試の形式に似ているので一石二鳥です。

試験の内容と結果

トランスファーを志望する人は「転入本科生」として試験を受けます。受験番号と受験教室が一般の受験者と異なるだけで、試験の内容は全く一緒です。詳しい試験の内容はICU のパンフレットや、BUCHOさんのサイトで確認して下さい。(時々ICU Meetingを覗いているので、書き込みに対してお答え出来ることもあると思います)私の受けた2008年度の入試には人がトランスファー受験をして12人が合格、11人が入学しました。トランスファーとして入学した人全員と会ったことはないのですが、3年次編入の人もいれば、私のように2年次編入の人や一度他の大学を卒業した人など、私の知っている限りでも幅広い年齢層の人がいます。以前在籍していた大学も様々なので、ICUに行きたいという気持ちがあれば、現在の大学のレベルや年齢を気にせずチャレンジして下さい。

単位変換に関して

トランスファー志望の方が最も気になっているのは、単位変換についてではないでしょうか。BUCHO さんの掲示板では、ICU では前の学校の単位が認めてもらにくいというのを耳にしていましたが、心配いりません！英語の授業は全く単位変換することが出来ないのですが、その他の授業は単位変換の条件である成績 B 以上をちゃんと取っていれば大丈夫です。私は前の大学に 1 年しか在籍していなかったため、変換する単位数が少なかったのですが以下のような結果になりました。

前の大学		ICU
一般教養科目(8 単位)	→	一般教養科目(8 単位)
第二外国語(4 単位) 専門科目(10 単位)	→	選択科目(14 単位)

ICU に変換する単位は自分で決められるのではなく、入学手続きの際に学校に送った成績証明をもとに教務グループの人がどの科目なら変換できる余地があるか判断しているようです。入学 1 週間後に教務グループの人と面接を行い、どの単位が変更可能か教えてもらいます。最終的な決定は学部長が下すので、教務グループの人に言われた科目の単位変換を書類で提出して結果を待ちます。私が説明できることはこれくらいなのですが、もし個別に相談したいことがあれば、オープンキャンパスなどで教務の人と話をしてみてください。

メジャー決定

2008 年から ICU は 6 科制を廃止し、メジャー制になりました。通常の学生は 2 年生の 3 学期にメジャー決定をするのですが、トランスファーは前の大学の在学期間が 2 年未満の人は 1 年の 3 学期に、2 年以上の人は入学してすぐ(5 月下旬)にメジャー申請をしなければなりません。大学に 2 年以上在籍した後に編入する方は、どのメジャーに所属したいかをよく考えて入学しておくことをお勧めします。

トランスファーの学校生活

トランスファーは在籍していた大学の学年をそのまま受け継ぐはずなのですが、ELP を 1 年生と一緒に受けるので(よほど TOEFL のスコアがよくない限り ELP は必修です)ELP のクラス(セクション)と一緒に人(セクメ)と過ごす時間が圧倒的に多いです。時々、自分が何年生なのか分からなくなりますが、セクメの中には私よりも年上の人いるし、

どの人も年齢を気にせず付き合ってくれています。授業に関しては、長くなってしまうのでここではあまり多くは述べませんが、真剣に学問に取り組む環境が用意されているし、自分の学びたかった分野も深めていけそうなので、ICU に編入することが出来て本当に良かったと思っています。夏には1年生と一緒にSEAプログラムという語学研修にも行く予定ですし、これからICUでしか出来ないことを思う存分やっていきたいです。

以上簡単ではありますが、私のICUへの編入体験をまとめました。大学の授業とICU対策は決して楽なことではありませんが、ICUは苦労してまで編入する価値のある大学だと思います。みなさんのご健闘をお祈りしています。最後まで読んで頂きありがとうございました。